

子育て情報

# ままちっち

mamachicchi

あべの・ひがしすみよし エリア

vol.79

2021.07.15

幼稚園・保育園

## 園選び特集



## 一時保育 体験レポート

子育て支援施設紹介

あれこれ報告書

あべの親子防災部

連載

島ぐらし、はじめました

突撃 パパにインタビュー

四コマ連載

発達障がい ぼく・わたし

ちょっと聞いて～！

パパ（ママ）とどうやって出会った？

ままちっちが運営するポータルサイトや  
LINE、イベントカレンダーなどはこちらから





■あいさつの感じなどの先生の態度(けい)

■お弁当は週何回?園長先生、先生、事務員さんの雰囲気はどう?あいさつしてくれるかどうか?など園庭開放に通つて確認しました(あい)

■知人に教えてもらつて。家から近い園は、お弁当、2年保育、先生の髪型が、長いのにまとめてなくて不潔な印象などなど、嫌な点がたくさんあつたので、遠いけれど今の園を選びました(みこ)

■幼稚園は3歳からというイメージを勝手にもつっていたので、いざ年少で入園してみるときょうだい児のプレ保育、満3歳で先に入園していた慣れた子ばかりで、親子ともに入園の不安や期待を共有する人がいなくてリサーキュラ不足を感じた。幼稚園の危機管理が自分とあうかどうかもっと意識して選べばよかつた(ピカピカの一年生)

■いろんな園の説明会や園庭開放に行つたが、在園している人の声を聞く機会がほんなかつたので、園の近くの公園とかに行き、自分から話しかけていろいろ聞けばよかったです。子どもも親も楽しめる園。自分の手でお弁当を作りたかったの重してくれるところ(ピカピカの一年生)

■幼稚園は子どもの居心地も大切です。靴など全て園指定です。おもしろいに大変!同じ園に通う先輩ママに、いろいろ聞いておけば良かつたなと思いました(あい)

■通っている園は、制服、カバン、靴下、靴など全て園指定です。おもしろいので、それぞれ何枚も購入するようになりました。ママ友がたくさんいました(匿名希望)

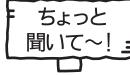
■2学年差のきょうだいは、年中通してプールの授業があつたり、普通保育内での勉強も比較的熱心な幼稚園に通いました。兄は真面目で問題なく。特に他の幼稚園と検討することなくきょうだい枠で入園することになった弟は、活発で自由人。入って1年ほどは行事の指導(厳しめ)の時に登園を渋ることもありました。年中、年長と上がるにつれて発表会で張り切っている姿も見られ、成長したなどと思いましたが、弟の方はのびのび系の園でもよかつたかも。2か所別々のところに送迎する余裕はありませんでした

**いわい歯科医院**  
IWAI DENTAL CLINIC

ママの診療時にはお子さまもご一緒に!  
ベビーカーのまま、ママの横でお待ちいただくこともできますよ。  
キッズスペースやおむつ交換台も完備!

女性Dr.もお待ちしています  
お口のことから子育てのこと  
なんでもご相談くださいね

ア倍野区松崎町4-4-22 翡翠マンション102号 ☎06-6654-4182  
診療科目・歯科・小児歯科・歯科口腔外科・矯正歯科



A. 行きつけのバーで出会い、バーのオーナーと私が派手なけんかをしているところを仲裁してくれたのをきっかけに急接近→付き合って1年で結婚(cathy)

たくさんの園がある中で、子どもが毎日通う幼稚園・保育園を選ぶのはとても難しいし、ポイントを押さえないと絞りきられませんよね。そこで、子どもの幼稚園・保育園を選ぶとき、どんなことを気にして選んだのか、先輩ママに園選びのポイントについて聞いてみました。



## 園選び特集

Q 「家から近い」ことはもちろん、どんな点を見て園を決めましたか?

■子どもが遊び遊べるか。先生の考え方と共に感できるか(うさぴよん)

■幼稚園にお任せではなく親や地域の人と交流しながら親子で幼稚園生活を楽しみたかったので、日々から親も関われるかどうか。服装持ち物、お弁当給食も自由と子どもがいろいろ選択でき個性を尊重してくれるところ(ピカピカの一年生)

■園庭開放に行つたときの、先生たちの楽しそうな様子を見て、きっと子どもも楽しく通えると感じたから。また、徒歩登園しても苦にならない距離、給食、習い事、延長保育があるのも決め手でした(匿名希望)

■自由でのびのびとした雰囲気ながらも長幼の序がしつかりしている雰囲気だった。園長が例年通りという言葉が嫌いと言っていたことや、説明会で一日の流れを映像で見せてくれたことも良かった(ぼっせ)



■家からは遠いが、どの先生もいつも笑顔で感じがよく、園全体が明るい雰囲気だった。園長が例年通りという言葉が嫌いと言っていたことや、説明会で一日の流れを映像で見せてくれたことも良かった(ぼっせ)



Q.「パパ(ママ)とどうやって出会いましたか。なれそめを教えてください」



# 子育て支援施設紹介

室内で安心して遊べる阿倍野区・東住吉区の子育て支援施設を紹介します!

## 阿倍野区子ども・子育てプラザ

乳幼児から就学後の児童(18歳まで)が、安心して遊べる場を提供しています。子育てに関する講座や親子と一緒に楽しめるイベントも毎月開催しています。今年度からキッズプラザ大阪と連携した新たな行事も開催する予定です。子育ての喜びや不安、疑問など、同年齢のお子さんを持つママやパパとお話しする日もあります。また、子育てのサポートをして欲しい人と、サポートできる人が会員として登録し、互いに支えあう「ファミリー・サポート・センター事業」も行っています。

一度、遊びに来てくださいね!!



**OPEN** 火曜～日曜 10:00～17:00  
★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数を制限し予約制になります。また、感染症の拡大状況により、利用方法の変更や事業が中止・延期となる場合があります。ご利用の際は、右記連絡先にご確認ください。

HP: 阿倍野区阪南町2-23-21  
TEL: 06-6623-1775  
CLOSE: 月曜・祝日・年末年始  
ただし、こどもの日、山の日、夏休み期間中の月曜は開館。

## 東住吉区子ども・子育てプラザ

乳幼児と保護者を対象に子育て親子の交流・つどいの場を提供し、子育て相談を行なうなど、安心して子育てができる環境づくりを行っています。ぜひ一度遊びにきてください。

イベント(毎月行っているもの)

- ◆お誕生会 ◆おおきくなったかな?(身長・体重測定)
- ◆おはなしいっぱい(絵本の読み聞かせ)

### つどいの広場(火曜～土曜)

①10:00～12:00 ②13:00～15:00

### なかよし広場

(火曜～土曜) 15:30～17:00  
(日曜) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30  
③15:00～16:30

・「1日1枠限り」「1週間に最大2枠」が利用できます。

ご利用希望日の前週火曜日9:30から予約を受け付けます。



OPEN: 東住吉区東田辺2-11-28  
TEL: 06-6699-3600  
CLOSE: 月曜・祝日・年末年始  
(7/21～8/31の月曜・祝日は開館)

## あおぞら保育園ファミリー

阿倍野区美章園2-19-20

080-3828-1920

あおぞら保育園阿倍野  
<http://aozora0123.jp/>



大阪市一時預かり事業  
<https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000370649.html>

生後6か月～小学校就学前まで

OPEN 月～金 9:00～17:00

CLOSE 土・日・祝

0歳児	2,700円/日
1・2歳児	2,000円/日
3歳児以上	1,200円/日

### 利用手順

STEP 1 電話から申し込み

STEP 2 初回：事前顔合わせ(子ども同伴)

希望の利用日時等を相談・決定

2回目以降：電話で希望の利用日時を相談・決定

STEP 3 当日



report | 1回目の利用時には、保育中の子どもを写真に撮り、お迎え時に写真を見ながら子どもの様子を教えてくれます(その心遣いに感動しました)。また、先生の人数をかなり多めに配置しており、子ども1人に対して、見てくれる先生が他の保育園と比べて多いです。先生方も優しく、親の私たちにも寄り添っていただいているように感じ、温かい気持ちになります。



上の子どもを病院に連れて行くときや、急な出社があるときに一時保育を利用します。このような認定保育園の一時保育が阿倍野区にはとても少ないので、もっと増えたらいいなと思いました。

阿倍野にできた2つの一時保育施設を、読者モニターさんが体験してきました！



## 一時保育体験レポート

## かがやく子育てルーム

阿倍野区長池町1-19

06-6657-4520

<https://kagayaku-kosodate.com/>



子育てサロン 0か月～4歳まで  
一時保育 6か月～7歳まで

子育てサロン 火・木 10:30～16:00  
金・土・日・祝(日祝不定休) 10:30～17:00  
一時保育 火・木 9:00～16:00  
金・土・日・祝(日祝不定休) 9:00～19:00

月・水曜日  
登録料 500円(1名)  
子育てサロン 500円/30分  
一時保育 700円/30分

利用手順  
STEP 1 HPから申し込み  
STEP 2 Zoomで事前面談(一時保育の場合)  
STEP 3 当日

report 大きな窓があって気持ちのいい空間に、かわいいおもちゃとたくさんの絵本。ふんわり穏やかなスタッフのおふたりに見守られて、ホッとできる場所でした。親子でいただけるお昼ご飯も優しい味でおいしくて、「遊べるカフェ」のような感覚で利用するのもいいなと思いました。そしていざ何か困ったときやりフレッシュしたいときには一時保育をお願いできる、そんな場所があるということがとても心強かったです。



1歳8か月のうちの子は一時保育未経験だったため、親子で遊ばせてもらう『子育てサロン』の体験をさせてもらいました。「なるべくママの負担を減らして、子どもとゆっくり過ごす時間を持ってもらえたなら」とお話をくださいました。



# 突撃パパにインタビュー

①子どもの年齢

- ②好きな家事
- ③子育てでがんばっていること
- ④趣味
- ⑤子どもの夢
- ⑥パパになってよかったです
- ⑦パパが思う、子どもに身につけてほしいから
- ⑧子どもができた、自分が変わったこと

## かしいパパ



**ママにひとこと**  
毎日子育ても家事も、本当にありがとうございます  
ママがいるからパパもがんばれます

①0歳(男)

- ②食器洗い。息子の様子を見つつ音楽聴きながら洗ってます♪
- ③オムツ替え。つかまり立ちをしだしてなかなかじっとしていくくれませんが、楽しくがんばっています
- ④ドライブ。息子の誕生を機にマイカーを購入しました  
これからいろいろなところへ行きたいです
- ⑤一緒にお酒を飲みながら人生について語る(笑)
- ⑥1日1日成長していく息子を見ていると、明日は何ができるようになるのかとてもワクワクした気持ちになれます
- ⑦あいさつや感謝など、人として当たり前のことを当たり前にできるから
- ⑧辛いけどがんばろうと思えることが多くなりました。仕事で嫌なことがあっても息子の写真を見れば何でもがんばれます

**①2歳(女)**  
②掃除、食器洗い  
③子どもの言うこと、したいことを否定せず、大事にする心がけています  
④子どもと一緒に公園で遊ぶこと  
⑤一緒に海外旅行がしたいです  
⑥家庭がにぎやかになりました  
⑦他人を思いやる、優しいこころ  
⑧何をするにしても、まず子どものことを優先して考えるようになりました

## にやーにやパパ



**ママにひとこと**

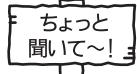
いつもありがとうございます

## 紙面に登場してくれるパパ募集!

info@codomoto.jp

インタビューにメールで答えてくれるパパを募集しています。写真は後ろ姿などでもOKです。ママからの推薦も大歓迎!

件名:パパインタビュー、本文に子どもの年齢、電話番号を明記しメールでご応募ください。



A. 私:新入社員、夫:同じ会社の課長(ひとり以上年上)。社員旅行で酔って手をつないだのをきっかけにご飯に誘われる。事件当時私が「上司の手を振り払うわけにもいかんよね…」とか思ってたのは内緒(うし)



いざというとき、わが子を守ることができますか?

「あべの親子防災部」の活動を紹介します

地震や台風が襲ってきたとき、子どもと自分を守ることができるという自信はありますか? 災害はある日突然やります。そして災害後、すぐに日常生活に戻れない場合がほとんどです。「ようやく手にいた食事を子どもが食べててくれない」「トイレに行きたくなくて飲食を控えたらさらに体調を崩してしまった」「災害を経験して初めて『備え』の重要さがわかった」そんなママたちの声をたくさん聞いてきたというNPO法人ミラクルウイッシュの益田さん。

ただ、「何をどう準備したらいいのかわからない」「忙しくて余裕がない」という声をたくさん聞いてきた益田さん。そこで、これまでの経験から「あべの親子防災部」を発足。主に、インスタグラムなどSNSを通じて情報を発信されています。

実です。そこで、日常生活のなかで気軽にできる防災活動があるということを知ってほしい! と『あべの親子防災部』を発足。主に、インスタグラムなどSNSを通じて情報を発信されています。

主に発信しているのは:



## ◆ポリ袋クッキング

ガスや電気などのライフラインが止まつたときでもできる調理方法です。食材・調味料を入れたポリ袋を、お湯を入れた鍋に「ドボン!」あとはほつたらかじりで完成するので、子どもと一緒に調理ができます。



▲ポリ袋クッキングが体験できるイベントも実施



今後も日常の延長線上で防災につながる知識やスキルを紹介予定だそう。最近では、より楽しく防災に触れてほしいと「防災キャンプ」を企画されています。今後もオンラインや対面でのイベントも実施していくとのことです。「あべの親子防災部」と検索してみてね。



▲オンラインイベントや、防災ミニキャンプなどを通じて、楽しみながら防災について学べる企画を進めています



運営 NPO法人ミラクルウイッシュ  
協力 (一社)codomotoままっち

兵庫県・大阪府を中心に、子育て中のママの「あつらいいな」を実現するための活動を実施

- ママの夢を応援する【ママ講師プロジェクト】
- 働く楽しさを親子で学ぶ【子ども店長プロジェクト】
- 災害から子どもを守る【親子防災部プロジェクト】など

WEB <https://mwish2014.link>



## ◆防災さんぽ

普段何気なく歩いている通学路でも、災害時には危険になる箇所があります。また、子ども目線だからこそ気づく危険なポイントがあります。「看板が落ちてきそう」 「ブロックの下の方にヒビが入ってるよ」となことを話しながら、親子でお散歩をするイベントを定期的に開催。



